

感じる・学ぶ・伝える：豊かな色の世界 Psrt2

日本人の着る文化から見えてくる色の感性

現在、日本から世界に向けて多くのサブカルチャーが発信されていますが、そこには伝統的に培われてきた日本人の美意識や生活意識が反映されているように思います。これらの意識は日本の地域社会が再生していく上で再認識していく必要のあるテーマでしょう。

また、日本の若者が自らの感覚でコーディネートしたファッションで渋谷や原宿に繰り出し、それが日本のストリートファッションとして世界の注目を集め、今や世界のデザイナーのアイデアの源泉として定着した感もあります。

本研修会は「日本人の美意識の底流についての考察」「ストリート・ファッションショー」「ワークショップ」の3つの構成で日本人の美意識の今を考えます。

写真はスタイルアリーナ(日本ファッション協会) <http://www.japanfashion.or.jp/style-arena/>より転載



講座テーマ・講師・概要

■ 9:15～ 開 場

■ 9:45～ 9:55 開会挨拶

日本色彩教育研究会 茂木 一司 会長

■ 10:00～11:30 日本人の美意識と色彩感覚—日本人の色彩感覚の底流—

一般財団法人 日本ファッション協会企画事業部 部長 山内 誠 氏

日本人の色彩感覚を見つめるためには、背景である日本人の美意識や生活意識に触れなければならない。ところが私たち「日本人」という人種は、世界の人々とは大きくかけ離れているとしか言えないようなのである。今回、日本の色彩感覚について、その底流に流れる日本人の独自性から追ってみたい。

■ 11:45～12:30 会員総会

■ 13:30～14:50 世界に発信する日本のストリートファッション—スタイルアリーナ・ファッションショーと解説—

一般財団法人 日本ファッション協会企画事業部情報発信事業 スタイルアリーナ担当ディレクター 嶋田 有樹 氏



「ストリートファッション」は、時代や社会を背景に、その"ひと"の趣味・考え方や気分が、自分なりの"着こなし"として表現されています。今回は海外からも注目されている東京の主要ファッションエリア、原宿・渋谷・表参道・代官山・銀座の街で実際に出会った方達をお招きし、リアルなストリートファッションをご紹介致します。



■ 15:00～16:30 ワークショップ「装いと色・かたち」

東京福祉大学 短期大学部こども学科 助教 手塚 千尋 氏

なつめ縫製所 プランナー・デザイナー 夏目 奈央子 氏

ファッションには、時代や社会的状況などの「世相」が反映されさまざまな流行が作りだされてきました。昨今のファッションの需要と供給は、ファスト・ファッションによる「均一化・フラット化」を生み出している一方で、消費者ひとりひとりによる「流行」の解釈により多様な世界を作りだしているといえます。それは、自己分析による「自分らしさ」の追及から生まれたある種の自己表現なのです。自分をどのように見立て(=分析)、装いに仕立て(=可視化)するのか。このワークショップでは「装い」をテーマに、色やかたちで身体に「自分らしさ」を重ねていきます。

開催要項

会 期	平成26年8月30日(土) 9:45～16:30	後 援	文部科学省(申請中)
会 場	東京家政大学 16号館 東京都板橋区加賀1-18-1	協 賛	日本色研事業株式会社
主 催	日本色彩教育研究会/一般財団法人日本色彩研究所	定 員	100名(申し込み順)
		参加費	3,000円(会員) 5,000円(一般) 1,000円(学生)

講師プロフィール

山内 誠氏

一般財団法人日本ファッション協会企画事業部部長。武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業後、東レ(株)入社。繊維事業のファッションセクションにて、流行色の選定・発行、トレンド誌の編集・発行、色彩&販売企画業務などに従事。2003年より(財)日本ファッション協会。2008年同協会流行色情報センター(現一般社団法人日本流行色協会)所長。2011年度より現職。金沢美術工芸大学大学院・武蔵野美術大学非常勤講師。日本テキスタイルデザイン協会理事。

嶋田 有樹氏

「style-arena.jp」ディレクター。1982年生まれ。大学卒業後、一般企業を経て日本ファッション協会に入社。東京の5地点(原宿、渋谷、表参道、代官山、銀座)に毎週カメラマンやアシスタントとともに足を運び、オシャレな人を撮るために現場ディレクターとして日々奮闘中。合わせて、エリア別に若者のファッションとライフスタイルの分析、およびショップやエリアの特徴についても分析を行っている。

手塚 千尋氏

東京福祉大学短期大学部助教。兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科修了。博士(学校教育学)。新島学園短期大学部非常勤講師を経て現職。異文化理解・多文化共生に興味をもつ。学校教育における造形・表現活動を、「学びの協同性」という視点から再構築することをテーマに、ワークショップによる教育実践を展開中。

夏目 奈央子氏

夏目縫製所 企画・デザインに従事。京都大学建築学科・京都大学大学院建築学専攻修士課程卒業。人間を包み込む一番近い素材である布に着目し、建築内装から衣服まで、人間の暮らしに生きる布の企画、デザイン、縫製などを一貫して行う。

会場アクセス

東京家政大学 16号館 (十条門正面)

東京都板橋区加賀1-18-1

J R埼京線「十条」下車徒歩5分

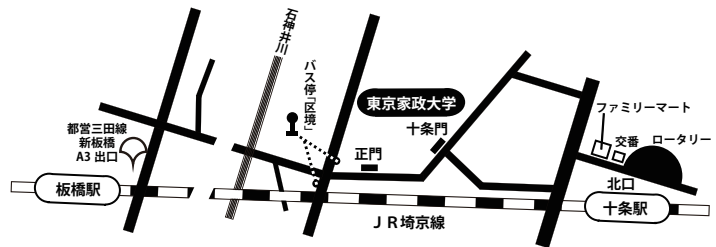
J R埼京線「板橋」下車徒歩17分

都営三田線「新板橋」下車徒歩12分

J R京浜東北線「王子」駅より

国際興業バス「板橋駅行」にて約8分、

バス停「区境」下車徒歩1分



申込方法

申込書に必要事項をご記入の上、下記宛先までお申込みください。FAX、郵送、E-mailのいずれでも結構です。

E-mailの場合は、申込書にある記入項目を転記の上、その内容を記載してください。

参加費は「現金書留」「銀行振込」「郵便振替」のいずれかでご送金ください。入金確認をもって申込受付と致します。

申込受付後、メールまたはファックスにて受講証をお送り致しますので、当日写しを受付にてご提示ください。

申込先

〒339-0073

さいたま市岩槻区上野4-6-23 一般財団法人日本色彩研究所内 日本色彩教育研究会事務局 赤木・大内

F A X . 048-794-3901 E-mail; ohuchi.hiroko@jcric.jp お問合せ TEL.048-794-3816

ホームページからもお申込み頂けます。http://www.shikikyo.jp/

会費振込先

郵便振替 00150-6-136277 色彩教育研究会

銀行振込 三菱東京UFJ銀行 六本木支店(店番号045) 普通預金 No.4274001

色彩教育研究会(シキサイキョウイクケンキョウカイ)

参加申込書

FAX.048-794-3901

◇第64回日本色彩教育研究会本部研修会に参加費を添えて申し込みます。

氏 名 _____ 勤務先 _____
(学生は学校名)

連絡先住所 _____

(参加証送付先)

自宅

TEL. _____

勤務先

E-mail; _____

FAX. _____

◇以下、該当するに✓印を付けてください

参加回数 1回目 2回目 3回以上

所 属 日本色彩教育研究会 一般 学生

支払期日 平成26年 月 日(予定日)

支払方法 現金書留 郵便振替 銀行振込

領収書は当日、受付での発行となります。

請求書 不要 要 請求先宛名 _____